

森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会発表概要

① 活動報告課題名

育て！大都市の森 箕面国定自然林の守り人

② 発表団体名

特定非営利活動法人 クワガタ探検隊

③ 発表概要

＜活動場所＞ 箕面国定公園内(滝道:箕面駅～昆虫館・桜広場～竜安寺)周辺

- 1 自然探検（自然林の四季変化）
- 2 自然ガイド（モミジの季節:子どもスタッフによる自然ガイド）
- 3 カブト虫里親飼育
（夏休みにカブト虫＜地域産＞を増やし、元の自然に帰す活動）
- 4 創作絵本の読み聞かせ（里山昆虫物語紙芝居＜全13作品＞）

＜活動の成果＞ 笹川科学研究賞(日本財団):平成22年度受賞活動

大阪さとり地域協議会(林野庁):平成26年度～継続活動中

＜今後について＞ 子ども(小中学生が主体人となる)活動をさらに推進する。

＜発表の概要＞

A 多様な命の箱船＝明治の森：箕面国定公園の自然紹介

関東の高尾山&関西の箕面山と並び称される大都市(大阪)に残る箕面国定公園には「かけがえのない命＝ニホンザル・オオサンショウウオ・オオムラサキ・オオクワガタ・クチキコオロギ・テングチョウ・ゲンジボタルなど」が今でも生息している。

B 奇跡の森：人と自然の共生の自然＝箕面川・箕面滝道

偉大な先人：笹川先生・森先生の尽力によって、明治時代に国定公園に指定され、大都市(大阪)に残された箕面公園は、春:野鳥の森→夏:ホタルの川辺(キャンドルロード)→秋:モミジの滝道(国際的な名所)→冬:修行の滝場として、年中・人々の往来が絶えず”奇跡的な人と自然の共生のモデル場”としての「環境共生イベント」を紹介

C 未来への持続可能な原体験の森＝NPOクワガタ探検隊の活動

多様な命と触れ合うための”実践的な探検の知恵とルール”を紹介します。

＜テングチョウの羽化、オオセンチコガネの体色変化、ゲンジボタルの乱舞場、オオルリのさえずり、多様なモミジ葉など＞

D 独自の森林環境教育＝未来の森の守り人：育成活動

”NPOクワガタ探検隊：子ども隊”が、『未来に繋がる活動』を実践する中で、《未来の森の守り人》に成長していく様子を発表します！

＜未来に繋がる活動＞

ア：〔カブト虫里親飼育活動〕…夏休み中、「子どもの、子どもによる、子どものための飼育教室」を実践し、増殖したカブト虫を元の箕面公園に帰す子ども活動のこと。

イ：〔モミジの滝道@子どもガイド活動〕…秋・世界中からの観光客が殺到する箕面滝道沿い(阪急箕面駅～府営昆虫館)を「子ども隊が自然案内」して歩く。

ウ：〔創作絵本の読み聞かせ活動〕…創作昆虫絵本(全13作品)を紙芝居として、来園する子ども(家族)に読み聞かせる。＜希望家族には、無料配本＞

★最新の「創作絵本：タマムシの彩ちゃん(第13巻・舞台：箕面昆虫館・平成27年5月発刊)」と「DVD紙芝居」をぜひ、見てください